



ふか さわ なお ひさ
深沢直久
 後援会だより

Go&Do



- 発行 / 深沢直久 後援会 太田市寺井町669番地
- 電話 / 0276-37-0716 FAX / 0276-37-0715
- 創刊 / 平成11年8月15日発行
- HP / <http://www.fukasawa.net>



いあいさつ

市民経済委員長です

みなさんこんにちは。寒くなり、クリスマス・お正月を考える時期になりました。この四月からの市議会の半年はとても忙しい年となりました。

合併がありました。議員も七十三名となり各委員会も十八名、十九名と町議会並みの人数となっています。

その様子は、オーケストラの様な議会景観です。

今年の四月、私は産業環境委員会委員長に就任いたしました。七月一日の機構改革で、市民経済委員長となりました。

三つの委員会の委員長を連続でさせて頂く、という事はめったにあることではなく皆様のご支持のおかげです。

一生懸命勤めます。

平成17年9月議会一般質問

1：1パーセント街づくり会議について

Q：視察で勉強してきたよく似た制度が八戸市にありました。そこでは「条例検討委員会」「地域コミュニティ進行検討委員会」「市民活動検討委員会」を同時に平行して立ち上げていく市民会議システム。太田市はどんなシステムか

A：太田市は地域に税の1パーセントを与え、そこで委員が使い道を考えて使うというもの
行政は黒子的な位置に徹する

Q：税は公費。使い方など審議する必要や、使ったものを監査する必要がある
地域でそれが出来るのか

A：当然予算、決算は市議会の審査が必要。あわせて執行部が監査をするものである

Q：この市民会議制度が進化をしていくと市議会がいらなくなるのでは

A：小さい街ならともかく21万を超える太田市では市議会は必要



2：北関東自動車道アクセス道にかかる市道整備について

Q：北関東自動車道が19年度中に開通するがそこにつながる太田市がやらねばならない道路整備は間に合うのか

A：太田市のものは北関東自動車道の側道・東武桐生線高架橋部分18年より19年度中の完成を目指す。県道部分、蕨塚西武線は平成19年。太田蕨塚線は平成20年完成予定

Q：インターが2つある太田市は魅力がある。しかし蕨塚インター側は排水路がないために、開発が期待どおりに行かないという関係筋の意見があるがどう認識しているか

A：県と市で調整池整備を進めている。調整池計画にあわせた排水計画の具現化に向け努力する

Q：不便や危険なところもある。開通前にどうしても整備しておく必要がある。どう実行されるのか

A：不必要な所もやむお得ず買ったところもある。高速と市道の間などである。安全性さえ確保できていれば、既存の道路でアクセスになっている。市民が運行に不自然でなく安心して運行できるなら、アクセス道は早くやる必要はない。



3：通学区の変更の必要性について

Q：城西小学校は鳥之郷小学校の分離校ですが城西の杜団地造成のため、ここに来て生徒数が急増。6年後には今の倍1000人になります。母体校の鳥之郷小学校は現在団地造成から35年目、1学年1クラスになった。通学区を元に戻したらいかがか

A：鳥之郷小学校の改築を視野にいれ、通学区の変更を検討したい。特に地区やPTA育成会等、関係者の理解を得ながら検討したい

Q：他校で生徒数の少なくなってきた学校にスクールバスを使い地域や団地等の制限をつけた中で通学させることは出来ないか。地域での子供の守りも大事だが、学校を次から次に建てられないと思うが。

A：遠距離通学や安全のためのバス通学は検討してきたが、学校の存続の面や教室不足解消のためのバス通学は検討したことがない。無理だと思う。



ホームページ

<http://www.fukasawa.net>

10月には市民経済委員会で山口県へ視察に出かけました。

生ゴミや畜糞を発酵させ有機質土壌にするシステム・・・太田市で使える（埼玉県江南市）事前9月に視察をした後。

宇部市では材木の製材で出る端材を使い発電するというバイオマス発電システム。ここはこの会社が資源の再利用をする循環型・・・導入は無理

萩市では循環バスやタクシーバスという新田地区で始まる「おうかがい市バス」とよく似たシステムがあり数年前からの実績がある・・・医療中心のバス利用

宇部市に戻り、山口大学と宇部市で連携して行っている救急医療搬送システムと救急病院、夜間、休日医療体制。また大学の医療チーム「侵襲医療」。手を下さないと死んでしまうところを見学させてもらった・・・感動的。担当医を講師に呼んでもっと聞きたい

太田で救急医療のこのようなことは、出来るかと聞いてみた。救急車での搬送の大半は夜間小児や内科的なものが多いと思う。レベル3の侵襲医療は患者の絶対量は少なく医師の待機の時間が長い。病院等の連携で可能性はあるとの解答があったが、費用等の問題も多々あると感じた。医師を救急車に乗せて病院に治療しながら運ぶ。そんな車とヘリコプターもあるそうで、大学病院がそこにある地の利があるようだ。

10月18日には足尾の山元調査に出かける。毎年監視をしながら緑化等がどのくらい進んできているか、対策事業の監視視察を行った。今年は雨が降っており、山から小滝が流れているのが見えた。滝は川となり渡良瀬川へ流れる。

太田市は藪塚、新田と大間々からその水を新田山田浄水場より飲み水として取水している。また太田地区も中心部より北部分で3分の1を渡良瀬表流水から取水している。直接からだの中に入れるわけで、今後より真剣に監視調査は続けていかねばならない。委員会の中でも合併後初めてこの山元調査に参加した委員も多く、一度環境を壊してしまうとその復元には大変な時間と労力がかかることを改めて感じたこととします

10月20日、渡良瀬川飲毒根絶太田期性同盟会と市民経済委員会と意見交換会を行った。太田市では40年近く続いた渡良瀬公害特別委員会を平成12年度で閉じたが産業環境委員会の中で引き続き継承し、今年、合併があり、機構改革された後も市民経済委員会に引き継がれよりいっそう注意し監視を続けると約束して閉会した。

ことしの6月議会は、後にも先にも今回限りでしょう、予算委員会がありました。通常では、3月に予算委員会はあり、4月からの新年度のお金の使い方を決めていくのですが、今年は合併があったので、4月5月6月の予算は必ず使うもの、福祉や極必要なものに限って暫定予算として4月からお金を出していました。今年度計画をされていたものは、出せませんでした。それを予算委員会審議をして早急に出すということになったわけであり、今までの太田の予算に3町の予算が入ったために700億円を超える大きい予算となりました。

7月には機構改革があり、一市4町を統合して、人事移動があり、組織変更がありました。太田市役所を本庁として、尾島支所。新田支所。藪塚支所となり、各支所には今までの各課はありますが、尾島には教育委員会、新田には社会福祉協議会、藪塚には農業委員会と分散型の体制ができました。

深澤直久議員を委員長とする産業環境委員会も、今までは産業環境部のみだったのが、市民経済委員会となり、産業経済部。環境部。市民生活部。消防本部。農業委員会と4部1局となり、他の3委員会をはるかに超える所帯を統括することとなりました。



バイオマス発電所
視察風景。



視察地でのあいさつ



植木屋さんの知恵袋



1. ナメクジ退治はピールがいい。どんぶりに飲み残しのピールをいれる。ナメクジがいい気持ちで溺死する。
2. イチジクは便秘に効く。特に女性に効く。イチジク浣腸は便通にイチジクが効くのでつけられた名前。浣腸がイチジクに形が似ているからではない。
3. 雑草退治は今がいい。今のうちに退治しておこう。4月5月に大きくなる草は、芽が出始めたころ。今退治しておけば90%出てこない。だまされてやってみよう。除草剤を使っても本当に少なくてすむ。環境にも良い。



聞き耳情報

イチジクを鉢で作っています。2月に挿し木すると9月に食べられます。今年は、クリスマスに食べることに挑戦しています。

サクランボを鉢植えしてみました。来年の春5月、人の背丈くらいの木にサクランボ・・ならせてみます。

ブルーベリーたくさん仕入れました。春に150鉢限定で販売します。

ヤマボウシ、シロヤマブキの苗作りました。限定1鉢・500円・で100本は、山に返したい。

北金井に芸術の村を作りたい。自然を守りながら陶芸や絵を描く為のところです。参加者募集中！！

朝早く畑で仕事をしていると、後ろのほうでオオオンとなく、無視しているものなら何回もなく。「メイか」と声をかけるとなかなか来ない。この猫、見回りに来ている。猫にも挨拶とこの習慣があるらしい。そばに近づいて来て、すぐ前ですく前ですくんと横になる。腹をなでてやるとかならず、二・三歩逃げ、こちらを覗む。だらだらくるな。

先日指を怪我したらしい。足を引きずって帰ってきた。さあ大変なのは母である。どうしたんだ、どうしたんだ、と猫に聞く。

「怪我しただけ」で思いつがそれを口に出さずものなら、冷酷な人間扱いされるのを最近、学習した。薬をつけて、包帯巻いて、何で包帯を取ってしまうのかと問いかけている母。「二・三日は本当に痛かったらうで、その後は、畑で走り、母の前では痛そうにする。おつ、おつ、お前も役者やのつ。」

最近母が、メイがどこにいるかと探すようになった。朝起きるといらないようだった。話を聞くと夜中に一緒にトイレに行くのだそうだ。それからいなくなるのだそうだ。…あなたが遅くまで寝ているだけで、今は夏、外は白々と明るい。

糖尿病になるかと思っていた体も、スリムになって猫らしくなってきた。畑では、農作業はせず、もっぱら狩りに専らしている。虫、蛙、最近はお前が上がり、鳥、ねずみと捕まえるようになった。動物の本能が自覚できた。ほめてつかわず。しかしお前だけに命を大切にしろとは言わない。鳥も遊ばず遊んで頭から背中、羽根だけむしって、尾っぽのないう恐竜みたいな姿な動物をこの世に送り出すな。

弱肉強食が動物の摂理。食べろ。それを隣において、何もなかったように、カリカリとキヤットフードを食べているお前の後姿。

最近、動物を超越したものを感ずる。

短編小説

お前は猫だ

第2話

